

定例会議資料	令和3年度警察官B採用試験の実施結果について	令和4年1月19日 警務課
--------	------------------------	------------------

1 警察官B採用試験実施結果

	男性		女性		計	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
申込者	156	149	57	39	213	188
第1次試験受験者	113 (72.4)	115 (77.2)	45 (78.9)	33 (84.6)	158 (74.2)	148 (78.7)
第1次試験合格者	85	104	24	28	109	132
第2次試験受験者	75 (88.2)	86 (82.7)	20 (83.3)	23 (82.1)	95 (87.2)	109 (82.6)
最終合格者	31【3.6】	35【3.3】	8【5.6】	9【3.7】	39【4.1】	44【3.4】

()内受験率、【 】内倍率

2 受験者の出身地方

	高知県内		四国地方 (高知県を除く)		中国地方		近畿地方		九州地方		関東地方	東北地方	北海道
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	男性	女性
令和3年度	84(27)	39(8)	2(1)	1(0)	10(0)	3(0)	9(0)	0	2(1)	1(0)	5(2)	1(0)	1(0)
令和2年度	91(32)	30(9)	5(1)	0	3(1)	2(0)	9(1)	1(0)	2(0)	0	4(0)	1(0)	0

()内合格者を内数で表示

3 合格者の年齢

		18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	29歳	30歳	計
		令和3年度	男性	14	4	6	1	1		1	1	1	1
	女性	7		1									8
令和2年度	男性	21	10		1	1	1		1				35
	女性	7	1		1								9

平均年齢

令和3年度：男性20.2歳、女性18.3歳

令和2年度：男性18.8歳、女性18.4歳

定例会議資料	令和3年中の県警察航空隊の活動状況について	令和4年1月19日 地域課
--------	-----------------------	------------------

1 活動状況

(1) 活動別飛行回数及び時間

	活動内容	飛行回数	飛行時間
警ら活動	警ら	53 (-38)	90:25 (-77:15)
	訓練	72 (+42)	93:55 (+51:35)
	小計	125 (+4)	184:20 (-25:40)
特別活動	緊配活動	4 (+1)	3:25 (+0:50)
	初動措置	5 (+2)	2:45 (0:00)
	救難救助	21 (-4)	27:50 (-6:05)
	自隊用務	7 (0)	7:05 (+0:50)
	小計	37 (-1)	41:05 (-4:25)
支援活動	総務・警務	3 (+3)	3:20 (+3:20)
	刑事	8 (-11)	11:05 (-7:20)
	生安	14 (0)	13:35 (-6:15)
	警備	24 (+19)	36:40 (+29:40)
	交通	4 (0)	6:10 (-1:10)
	行政支援・応援派遣	3 (-1)	5:35 (+2:40)
	小計	56 (+10)	76:25 (+20:55)
合計	218 (+13)	301:50 (-9:10)	

()は前年比

(2) 署別事案要請(件数)

署	高知	高知南	高知東	室戸	安芸	南国	土佐	佐川	須崎	窪川	中村	宿毛	計
件数	1	7	5	2	6	6	6	1	3	1	3	0	41

(3) 非稼働期間

耐空検査のための定期委託整備：5月31日～8月11日(73日間)

100時間定期検査：1月6日、3月30日、11月17日(3日間)

第2エンジンオーバーホールのため載せ換え作業：12月7日～12月10日(4日間)

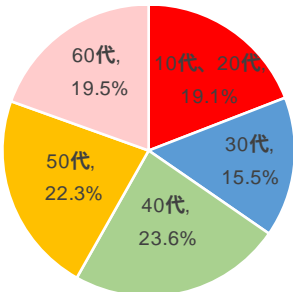
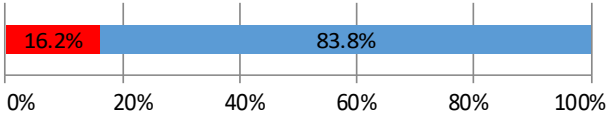
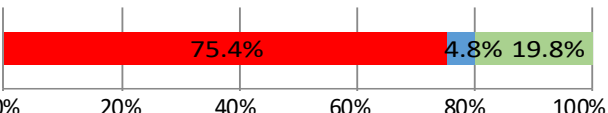
2 主な活動事例

(1) 特別活動

- <救難救助> 佐賀港における行方不明車両捜索・発見(1月)
安芸市尾川における道迷い者の捜索・発見・救助(1月)
室戸市椎名漁港における釣り人捜索・発見・誘導(10月)
大豊町川口における行方不明者の捜索・発見・誘導(10月)
仁淀川町加枝における遺体吊上げ搬送(11月)
香美市物部町別府における道迷い捜索・発見・誘導(11月)

(2) 支援活動

- <刑事> 逮捕監禁容疑車両捜索・発見・誘導(3月)
<交通> 高速道路における「あおり運転」合同取締り(5月、9月)
<警備> オリンピック聖火リレーのヘリテレ映像送信(4月)
<行政支援> 軽石漂流状況調査(11月、12月)

定例会議資料	信号機がない横断歩道に関するアンケート調査の結果について	令和4年1月19日 交通企画課
<p>1 期間 令和3年6月22日（火）から7月16日（金）までの25日間</p> <p>2 対象者 運転免許更新時講習の受講者1,014人（高齢者講習対象者は除く。）</p> <p>3 内容 ドライバーの歩行者優先意識と正しい横断方法の定着状況を確認するため、「信号機がない横断歩道に関するアンケート調査」を行った。</p> <p>4 アンケート結果</p> <p>(1) 年齢構成</p> <p>10・20代：194人（19.1パーセント） 30代：157人（15.5パーセント） 40代：239人（23.6パーセント） 50代：226人（22.3パーセント） 60代：198人（19.5パーセント）</p>  <p>(2) 主な質問に対する回答</p> <p>ア 車を運転中、進行方向にある信号機がない横断歩道の近くに人が立っていた場合、あなたはどのようにしていますか。</p> <p>そのまま通過している 16.2% 横断歩道の手前で一時停止している 83.8%</p>  <p>イ そのまま通過するのは何故ですか（アで「そのまま通過している」と回答した164人が回答）</p> <p>横断するかどうか分からない 75.4% 一時停止しなければならないことを知らない 4.8% その他 19.8%</p>  <p>(3) その他の主な意見</p> <p>ア 歩行者が渡る意思を示していれば停止する。 イ 自分が停止することで渋滞が発生したり、後続車に追突される危険性がある。</p> <p>5 歩行者優先と正しい横断方法を定着させる対策</p> <p>(1) 「あいさつ県民運動」の更なる普及による交通秩序の改善 歩行者と運転者が相互に思いやる社会を構築し、事故・事件が起きにくい社会を確立する。</p> <p>(2) 交通指導取締りの強化 歩行者保護重点横断歩道における交差点関連違反の取締りを徹底する。</p> <p>(3) 広報啓発活動 関係機関・団体との協働や報道機関、SNS等を活用し、道路横断時に「手を上げて横断する意思を運転者に示すこと。」を広報啓発する。</p>		